

新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

構成組織の皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年私たちは、「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け◆組織強化と組織拡大への取り組み◆すべての働く者の労働条件の底上げ・ディーセント・ワークに向けた社会運動の展開◆連合地域協議会と連携した県内全域での「地域に顔の見える連合運動」の推進◆働く者の政策・制度要求と政策実現に向けた「政治活動」への取り組み等々を重点に運動を行ってきたところです。

また、東日本大震災や台風12号豪雨災害からの復興・再生への取り組みについても、被災地への復興状況視察や被災地での「政策フォーラム」を開催するなど、労働組合としての復興・再生に関する取り組みと、今後の大規模災害時の対応等について研修を行なった1年でもありました。

その様な中、安倍政権が進める経済・財政政策において、傷んだ雇用を更に劣化させるかの様な、労働分野の規制緩和や労働者保護ルールの改悪に向けた動きを加速させたり、ねじれ国会が解消した参議院選挙後の臨時国会においては、巨大権力を持つ与党の強引な審議の打ち切りや強行採決を行うなど、国民や働く者の不安を煽る国会運営等を繰り返されています。

私たちは、「人」を「モノ」や「カネ」と同列に置き、労働者を踏み台にした成長戦略を描くことには、決して許されるものではなく「ブラック企業」の手法を合法化する様なことには、断固として阻止しなければなりません。

しかし、衆参野党が多数を占める政治状況の下、労働分野の規制緩和を阻止するには、働く者の声を結集して世論を喚起し、政治と対峙する必要があります。

引き続き、政権・与党の暴走にブレーキをかける世論喚起の運動への取り組みを強化していかねばなりません。

さて、年頭にあって当面する課題について申し上げます。

1点目は、2014年春季生活闘争について、経済成長と所得向上を同時に推し進め、「STOP THE 格差社会暮らしの底上げ実現」を進めるため、すべての働く者の底上げにつなげる闘争展開を図っていくとの考えから「すべての組合が月例賃金にこだわり、そして、正規・非正規、組織・未組織、企業規模を超えたすべての働く者の底上げ・格差是正をはかる」取り組みを基本に、定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保し、物価や生産性向上など賃上げ(1%以上)として求める。また、格差是正(1%を目安)の要求を掲げることの方針を決定しました。

具体的労使交渉においては、これまで以上に非常に厳しい闘いが予想されますが、個別労使交渉での粘り強い交渉と取り組みにより、すべての働く者の労働条件の底上げに繋げようではありませんか。

2点目は、労働運動の質・量のパワーアップを図る取り組みについて、すべての職場に集团的労使関係の構築をめざし、「1000万連合」の実現に向けた県内での組織拡大について、連合本部・構成組織・地協とも連携し取り組んでいきます。

私たちを取り巻く状況は、何かと厳しいものがありますが、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、今年も県内全域で「顔の見える連合運動」に全力で取り組んでまいります。

皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、組合員ならびにご家族のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。



日本労働組合総連合会
和歌山県連合会(連合和歌山)
会長 古谷 紀男

連合和歌山賃金学習会を開催

12月12日(木)18:00プラザホープにて中小・地場企業労働者の賃金・労働条件改善に向けて標記学習会を開催しました。

参加者は約80名で連合本部より労働条件・中小対策局松本喜成局長を迎え、「連合中小共闘方針と地域ミニマム運動の重要性」と題した講演が行われました。

2014春季生活闘争の方針については、経済発展や景気回復と同時進行で、労働者の賃金引き上げを確保しなければデフレから脱却出来ない等、熱心に説明していただきました。



年末の一斉労働相談キャンペーンを開催

12月10日及び11日10時～19時まで年末の一斉電話労働相談キャンペーンを行いました。

今回は、連合で初めて「求人広告・求人票」をテーマにし全国で一斉にキャンペーンを行いました。

新規大卒者の採用活動が12月1日に解禁され、就職活動が本格化している中、いわゆる「ブラック企業」が横行し社会問題となっており、求人時に示された労働条件と実際の労働条件が違っていたというトラブルが後を絶たないことを起因とし今回のテーマの決定に至りました。

また、12月4日(水)には和歌山駅周辺において全国一斉労働相談キャンペーンの周知を行うため、街頭啓発を行ってきました。

街頭啓発活動



「働くことを軸とする安心社会」へ向けた要請書、県へ提出

連合は「2014年度政策制度実現の取り組み方針」を策定し「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた取り組みとして、各首長等への要請行動を行うこととしました。その要請行動として連合和歌山は2013年12月6日県に対し取り組み方針の要請書を手交するとともに、県内の雇用環境等について意見交換を行いました。



今後の活動

解雇・雇止め集中相談 2/5～2/7

厳しい情勢を背景に、解雇や雇止めが依然として多い状況が続いています。特に、3月は期間契約で働いている方については、期間満了になる方が多く、これに伴う雇止めや解雇等の増加も考えられます。

そのような中、連合は「解雇・雇止め集中相談」を実施する予定です。詳細については次のとおり。

期 間 2014年2月5日(水)～2月7日(金)
実施場所 連合和歌山
電話番号 0120-154-052 (携帯電話からでもOKです)